

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 上位の施策名称 | 施策I-2-1<br>売れる農林水産品・加工品づくり |
|---------|----------------------------|

## 1. 事務事業の目的・概要

|          |            |      |              |
|----------|------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 畜産課長 川津 章弘 | 電話番号 | 0852-22-5132 |
|----------|------------|------|--------------|

|         |   |
|---------|---|
| 事務事業の名称 | 飼料安全対策事業  |
| 目的      | (1) 対象 家畜飼料の製造・販売業者及び家畜飼養農家<br>(2) 意図 安全な飼料の製造・販売、飼養が行われるようにする。   |
| 事業概要    | 「飼料安全法」に基づく家畜飼料の規格・基準が遵守されていることを確認するため、家畜の飼料を扱う業者に対して飼料の収去と指導を行う。 |

## 2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |                        | 年度    | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------------------------|-------|------|------|------|------|------|----|
| 1        | 指標名 飼料安全法に基づく家畜飼料の不適合率 | 目標値   |      | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | %  |
|          |                        | 取組目標値 |      |      |      |      |      |    |
|          | 式・定義 不適品/収去品×100 (%)   | 実績値   | 0.0  |      |      |      |      |    |
|          |                        | 達成率   | -    | -    | -    | -    | -    | %  |
| 2        | 指標名                    | 目標値   |      |      |      |      |      |    |
|          |                        | 取組目標値 |      |      |      |      |      |    |
|          | 式・定義                   | 実績値   |      |      |      |      |      |    |
|          |                        | 達成率   | -    | -    | -    | -    | -    | %  |

## 3. 事業費

|             | 前年度実績 | 今年度計画 |
|-------------|-------|-------|
| 事業費(b) (千円) | 265   | 255   |
| うち一般財源 (千円) | 133   | 128   |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

県内には現在約240の飼料等の製造・輸入・販売を行う業者があり、毎年その1割程度について立入検査を実施している。一部の業者で「飼料安全法」の認識不足から、飼料の保管方法や帳簿保存期間の理解不足などによる不備がみられる。

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

飼料の安全性の確保、特にBSEの発生予防に重点を置いて立入検査を続けてきた中で、指摘事項は軽微なもの(その場で直せるものや口頭指導で済むもの)がほとんどとなり、業者の間でもその基本的な考え方が浸透してきたように思われる。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

一部の業者で、飼料の保管方法や帳簿保存期間の理解不足などによる不備がみられる。

### ②困っている状況が発生している「原因」

業者の関係法令に関する知識不足

### ③原因を解消するための「課題」

パンフレットや指導により法令順守を徹底する。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

検査機関である隠岐支庁農林局及び各農林振興センターと担当者会議等で関係法令に関する知識について十分に共有を図り、効果的な知識の普及及び指導を行う。

## 9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。